



それがし「斬られ役」にござる。

第48回
日本アカデミー賞7部門受賞!

作品賞・監督賞・脚本賞・撮影賞
照明賞・編集賞・主演男優賞

第67回
ブルーリボン賞二冠受賞!

作品賞・主演男優賞

日時

令和7年 **4月26日(土)**

① 10:30~ / ② 14:00~

※開場 30分前 / 上映時間 = 2時間11分 【全席自由:各回完全入替制】

会場 **ウッドワン ぐるびあ 大ホール**

【お問い合わせ】 **0829-20-0111** ウッドワン ぐるびあ
9時~21時 / 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)

チケット好評販売中!!

料金	一般	1,200円
	会員	1,000円 (当日各300円増)
	高校生以下	800円 (当日同額)

主催:シネマキャラバンV.A.G
共催:(公財) 廿日市市芸術文化振興事業団

侍タイムスリッパ

山口馬木也 富家ノリマサ 沙倉ゆうの

峰蘭太郎 庄野崎謙 紅 萬子 福田善晴 井上 肇 安藤彰則 田村ツトム 多賀勝一 吹上タツヒロ 佐渡山順久
Rene 柴田前行 きらく尚賢 ムラトシ 神原弘之 五馬さとし 田井寛幸 徳丸新作 家康 豊 岸原 稔 戸田都康 矢口崇平 吉永真也 橋本アキ 佐渡太郎 高寺裕司 江村修平 山本拓平 西村裕康
谷垣宏尚 藤崎雅美 夏守剛平 橋本裕也 大野洋史 山内 良 宮崎恵美子 岩崎俊治 雨音テン 水屋 皇 石川典佳 結月 舞 鈴木ただし 藤 美佳 赤弘卓磨 瀧典 枝 尚紀 藤岡誠生 吉村崇貴 東映京都俳優部
監督/脚本/撮影/編集/安田淳一 総務/清水一斗 助監督/高垣博也 沙倉ゆうの 原明/土屋政世 はのひろし 音声/岩瀬 航 江原三郎 松野 景 床山/川田政史 アクション指導/堀内博貴
特効/前田智広 田光 時代衣装/古賀博隆 片山輝江 美術協力/辻野 大 田宮美咲 岡崎真理 制作/清水正子 装身具/高津商会 協力/東映京都撮影所 製作/未来映西社

幕末の侍が時代劇撮影所にタイムスリップ!?



インディーズの限界をぶった斬る!爆速の2時間11分。

俳優 **風間杜夫** あっという間の2時間11分。一気に観た。

色々な時代劇に対するオマージュも込められて、CGを使ったり、ワイヤーで飛んだりとかじゃなくて、昔ながらの立ち回りを基本にした**チャンバラが痛快**。山口馬木也君の朴訥とした田舎侍ぶりが**本物にしか見えない**。冨家ノリマサさんがまた良い!侍魂がうまく描かれたとても楽しい娯楽時代劇。

俳優 **鶴見辰吾**

ターミネーター以来の衝撃! 笑えて、笑えて、固唾を飲んで、涙まで出る。山口馬木也が演じる朴訥な武士が**最高に愛おしい**。

脚本、演出、配役、殺陣、音楽、まるで剣の達人が如く隙がない。そこに安田淳一監督の武士道精神さえ見えるのだ。

料理だったら皿まで舐めたい映画。俺は映画館で観れて本当に幸せだあ…**世界に羽ばたけ!**

早くも「STS(侍タイムスリッパ)2」が観たいぜ!

映画監督 **山岸謙太郎**

面白かった!! かつこつけずに熱く、分かりやすく、サービス精神満点の映画だった。子供からお年寄りまで

誰にでも勧められる! 久しぶりに監督が全財産投げ打ってる熱い映画を観た。

映画大好きツイッター— **papiko** (年間映画鑑賞300本)

タイムスリップものとしても、時代劇ものとしても、映画作り映画としても、完璧に面白い!

上映後は会場が万雷の拍手。今までの舞台挨拶で1番手を叩いちゃいました。

絶対に全国公開すべき大傑作!



© 未来映画社

STORY

時は幕末、京の夜。会津藩士高坂新左衛門は密命により長州藩士を討つ任を帯びていた。いざ両者が刃を交えた刹那、雷鳴轟き、新左衛門は現代の時代劇撮影所へとタイムスリップしてしまう。守ろうとした幕府がとうに滅んだと知り愕然とする新左衛門。一度は死を覚悟したものの「我が身を立てられるのはコレのみ」と刀を握り締め、鍛え上げた剣の腕だけを頼りに撮影所の門を叩く。「斬られ役」として生きていくために…。

NOTE

監督は米農家の安田淳一。「自主映画で時代劇を撮る」という無謀に「ホンがオモロイ」と東映京都撮影所が特別協力。10名足らずの自主映画ロケ隊が時代劇の本拠地東映京都で撮影を敢行する前代未聞の事態。ずったもんだの半年を経て奇跡的に映画は完成。23年10月の京都国際映画祭でプレミア上映されると、客席から沸き起こる大きな笑い声。予想の斜め上いく展開に引き込まれ、息をのみ、気が付けば拍手喝采のエンドロール。場内はヤンヤの歓声に包まれた。観客を最後まで飽きさせず楽しませる手練手管。時代劇への愛あるオマージュ。無名監督の作品という前情報を大きく覆す完成度の高さに、SNSでは伝説的作品『カメラを止めるな!』を想起させるという声が続出。2024年夏、池袋シネマ・ロサで公開されるや満席回を多発、毎回のように起こる終映時の拍手に劇場スタッフも驚く盛況ぶり。ついに全国拡大上映が実現した。

田植機に乗る
安田淳一監督

お米も映画も
丁寧に
作っています。

【上映に関するお問い合わせ】

チケット好評販売中!!

0829-20-0111 ウッドワン くらびあ

9時~21時 / 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)